

■ 基礎知識（寄生虫感染の予防と管理）

犬猫の健康維持のうえで重要な要素のひとつが、内部寄生虫および外部寄生虫の管理です。寄生虫はどうぶつの健康に深刻な影響を与える可能性があり、感染を防ぐためには定期的な予防医療が必要です。

獣医師によって、内部寄生虫および外部寄生虫の検査と適切な薬剤による駆除・予防薬の使用などが行われ、併せてご自宅等でも清潔な環境維持やどうぶつの健康管理も重要です。

■ 主な内部寄生虫・外部寄生虫の種類と寄生虫予防の目的

犬と猫の内部寄生虫および外部寄生虫の予防と駆除は、どうぶつの健康維持に加えて、飼い主様とご家族の健康を保護し、公衆衛生の観点からも重要な役割も担います。

寄生虫は、どうぶつだけでなくヒトにも感染し健康被害を引き起こす可能性があるため、感染させない、感染を広げないという大きな目的を愛玩動物看護師としてしっかりと理解し、飼い主様にお伝えしていきましょう。

主な内部寄生虫の種類

内部寄生虫とは、どうぶつの体内に寄生して健康問題を引き起こす寄生虫のことです。犬猫によくみられる内部寄生虫は、次のようなものがあります。

フィラリア

フィラリアは蚊を介して感染する寄生虫であり、主に犬の心臓や肺動脈に寄生します。感染すると心臓病や呼吸器症状を引き起こす可能性があります。

消化管寄生虫

消化管に寄生する寄生虫であり、感染すると下痢や腹部膨満、腹部不快感、お尻周辺のかゆみ、体重減少などの症状が見られることがあります。

また、血液を吸って栄養を得る寄生虫もいます。

感染すると貧血や下痢、体重減少などの症状が現れることがあります。

執筆者



Ito Hiroyuki
伊藤 裕行 獣医師

苅谷動物病院グループ市川総合病院 顧問
日本獣医再生医療学会 常務理事
一般社団法人どうぶつ予防医療協会 代表理事

■ 所属
日本獣医がん学会 日本獣医腎泌尿器学会

